

2026年度
2年生 前期シラバス
(看護学科)

実の力を、学ぶ学校



学校法人
日翔学園

開成情報看護専門学校

<シラバス>

授業科目		統計学	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	中尾 友紀	実務経験のある教員	—
学習目的		量的研究について理解できるよう、基本として用いられる統計的手法について学ぶ。統計量を単なる数値ではなく、有効性や効果の程度を表すデータとして正しく解釈できることを目的とする。				
学習目標		量的研究に関する手法や内容の理解を目標とする。手計算や複雑な数式の導出よりも、統計手法の概念的理解や分析結果に基づく判断、分析手法を選択する考え方といった論理的プロセスの習得を目指す。併せて、統計学に基づいて判断を行うAIの利活用について、統計学の知識と関連付けて、AI活用の利点とそのリスクを学ぶ。				
授業計画	1	1章 研究デザイン				
	2	2章、3章 尺度、記述統計量、外れ値				
	3	2章、3章 分散、標準偏差、標準化得点(z-score)、偏差値(Z-score)、正規分布				
	4	4章、5章 推測統計、帰無仮説検定				
	5	6章 対応のあるt検定、Welchのt検定、多重比較				
	6	分散分析、交互作用				
	7	7章、8章、9章、10章 2値データの分析(χ^2 乗検定、オッズ比)、区間推定				
	8	11章、12章 相関分析、散布図、擬似相関、交絡因子				
	9	11章、12章 回帰分析(単回帰分析、重回帰分析、ロジスティック回帰分析)				
	10	回帰分析(ロジスティック回帰分析)				
	11	生存分析				
	12	メタ分析				
	13	倫理的なAIの利活用とリスクについて				
	14	振り返り(要点のまとめ・質疑応答など)				
	15	確認試験				
授業方法		講義				
テキスト・参考文献		「医療統計」わかりません！！ 五十嵐中・佐篠麻里 著 東京図書株式会社 授業中の配布資料				
評価方法		試験				
備考		Google Classroomを活用します。ログイン等操作に不安があれば事前に相談して、解消すること。				

<シラバス>

授業科目		カウニング理論と技法	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	相原 和雄	実務経験のある教員	—
学習目的		心の仕組みと働きについて理解すると共に、精神的な健康に対する援助について基礎的な知識や技術・態度を学ぶ。				
学習目標		1. 心の健康の回復や維持・増進に有効な方法を理解し、セルフケア援助としての看護について、基本的な考え方を身につける。 2. カウニングを通して、人の心と向き合う力を養い自分自身の理解に努める。				
授 業 計 画	1	オリエンテーション(心理学とは、カウニングとは)				
	2	精神分析的カウニング ①				
	3	精神分析的カウニング ②				
	4	人間中心的カウニング ①				
	5	人間中心的カウニング ②				
	6	認知行動主義的カウニング ①				
	7	認知行動主義的カウニング ②				
	8	マイクロカウニング ①				
	9	マイクロカウニング ②				
	10	グループエンカウンター ①				
	11	グループエンカウンター ②				
	12	精神保健と福祉におけるカウニング				
	13	心の健康と医療				
	14	事例検討				
	15	まとめ・試験				
授業方法		講義、グループワーク				
テキスト・参考文献		講義毎にレジュメを配布				
評価方法		試験、授業態度				
備考		集中講義ですので、理由なき遅刻・欠席・早退のないようにして下さい。				

＜シラバス＞

授業科目		情報リテラシー	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当教員	大崎 友也	実務経験のある教員	○
学習目的		医療現場において、電子カルテなどコンピュータを活用する場面が日常化している。情報機器を正しく活用し、適切に処理できる能力が求められている。本授業では、情報機器の高度化に対応できる素養を身に付けるため、適宜、コンピュータを使った実習により、情報リテラシーを習得する。				
学習目標		1.看護ニーズとしての医療情報に関して、必要な情報を早く正確に入手し、理解し、活用できる。基礎能力を習得するため、コンピュータの基本操作から、文書処理・表計算処理ができるようになる。 2.卒業研究に備え、研究発表に対応するためにプレゼンテーションの方法を知り、他者に伝えることができる。				
授業計画	1	Word 書式設定(1) 書式設定(2)				
	2	Word 書式設定(3) ビジュアルコンテンツ(1)				
	3	Word ビジュアルコンテンツ(2) ビジュアルコンテンツ(3)				
	4	Word ビジュアルコンテンツ(4) レポート作成の基本				
	5	Word レポート作成の便利機能(1) レポート作成の便利機能(2)				
	6	Word レポート作成の便利機能(3) ページレイアウトの設定				
	7	Word WordとExcelの連携(1) WordとExcelの連携(2)				
	8	Excel Excel基本操作(1) Excel基本操作(1)				
	9	Excel 数式の設定 オートフィル				
	10	Excel グラフの基本(1) グラフの基本(2)				
	11	Excel ワークシートの操作 関数の基本(1)				
	12	Excel 関数の基本(2) 関数の基本(3)				
	13	Excel 表・グラフの応用(1) 表・グラフの応用(2)				
	14	Excel データベース機能 関数の応用(1)(2)				
	15	まとめ、試験				
授業方法		講義、実習				
テキスト・参考文献		30時間でマスター Word&Excel 2019 Windows10対応 実教出版 30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2019 Windows10対応 実教出版 情報リテラシー パーフェクトブック課題集 2019/365 その他、適宜資料を配布する				
評価方法		出席状況、試験、授業態度				
備考		内容に関しては授業の進捗状況に応じて変更あり				

<シラバス>

授業科目		疾病治療論Ⅴ	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	奥田 麻子	実務経験のある教員	—
学習目的		系統別疾患について、臓器系特有の症状をとらえ病態生理、治療、検査について学習し、疾病の成り立ちや症状を理解する。				
学習目標		看護実践の基礎知識となる小児疾患、精神疾患の病態生理・検査・治療方法が理解できる。				
授 業 計 画	1	感染症1				
	2	感染症2				
	3	川崎病、心疾患				
	4	染色体異常、内分泌疾患				
	5	糖尿病、腎疾患				
	6	悪性疾患、神経疾患				
	7	消化器疾患				
	8	呼吸器疾患				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
授業方法		講義				
テキスト・参考文献		系統看護学講座 小児臨床看護各論 第13版 医学書院(電子テキスト)				
評価方法		出席状況、筆記試験ほか				
備考		授業計画の詳細は講師より説明あり。				

<シラバス>

授業科目		社会福祉論	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	岩城 慎人	実務経験のある教員	○
学習目的		人間は「社会的存在」であり「自分自身の人生の主人公として自分らしく生活する」権利を有している。この事を理解し「生活すること」や「本人らしい生活」を支援する基本的視点を理解し、主体的に他職種と協働してゆく姿勢を培う。				
学習目標		①社会福祉の目的・価値や人間理解の基本的視点を理解する。 ②社会福祉に関する専門的知識や社会保障制度、福祉サービスについての知識を得る。 ③生活支援や福祉サービスの提供にあたり、科学的根拠をもとにした人権擁護の視点を培う。				
授 業 計 画	1	第1章 社会保障制度の概念、歴史、制度体系、保障内容				
	2	第1章 社会保障制度概念、歴史、制度体系、保障内容				
	3	第1章 社会福祉法制度の歴史、サービス内容、福祉法と6法、財政、組織と体制				
	4	第2章 我が国の社会保障制度・社会福祉・保健医療の動向				
	5	第3章 医療保障制度、高齢者医療制度、保健医療の仕組み				
	6	第4章 介護保険制度の歴史・概要				
	7	第5章 所得保障・年金保険制度・労働保険制度				
	8	第6章 公的扶助：生活保護制度・低所得者近年の動向と対策				
	9	第7章 社会福祉分野とサービス				
	10	第7章 社会福祉分野とサービス				
	11	第7章 社会福祉分野とサービス				
	12	第8章 社会福祉実践と医療・看護				
	13	第8章 社会福祉実践と医療・看護				
	14	第8章 社会福祉の歴史				
	15	まとめ、試験				
授業方法		講義				
テキスト・参考文献		健康支援と社会保障制度(3) 社会保障・社会福祉 医学書院(電子テキスト)				
評価方法		試験 提出物 出席状況				
備考						

<シラバス>

授業科目		フィジカルアセスメント	授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当教員	武政 あゆみ	実務経験のある教員	○
学習目的		フィジカルアセスメントの意義について理解し、対象の健康状態を総合的に判断するための知識・技術を学ぶ。				
学習目標		1. 看護実践におけるフィジカルアセスメントの意義、目的について理解できる 2. フィジカルアセスメントに必要な技術の方法と留意点を述べることができる 3. 系統的なフィジカルアセスメントの目的・根拠を述べるができる 4. 系統的なフィジカルアセスメントの観察項目、方法、留意点を述べることができ、一部実施できる 5. フィジカルアセスメントの正常・異常が判断できる				
授 業 計 画	1	フィジカルアセスメント総論(フィジカルアセスメントの目的・技術の基本)				
	2	フィジカルアセスメントに必要な技術の実際 / 身体計測 / 頭頸部のアセスメント				
	3	呼吸器系のアセスメント				
	4	循環器系のアセスメント				
	5	呼吸器系のアセスメント				<演習>
	6	循環器系のアセスメント				<演習>
	7	腹部のアセスメント / 直腸・肛門・生殖器のアセスメント				
	8	腹部のアセスメント				<演習>
	9	脳・神経のアセスメント				
	10	筋・骨格系のアセスメント				
	11	脳・神経系のアセスメント				<演習>
	12	筋・骨格系のアセスメント				<演習>
	13	疾病とフィジカルアセスメント(グループワーク)				
	14	疾病とフィジカルアセスメント(発表)				
	15	まとめ・試験				
授業方法		講義・演習、DVD(動画)視聴				
テキスト・参考文献		基礎看護学(2) 基礎看護技術 I 医学書院(電子テキスト) 看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント 第1版 メディックメディア				
評価方法		出席・演習態度、課題ワークシート、筆記試験				
備考						

<シラバス>

授業科目		急性期看護論	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	大沢 たか子	実務経験のある教員	○
学習目的		急性期・クリティカルにある対象者の特徴と身体的・心理的变化を理解し、心身ともにストレスフルな状態を理解するための基礎となる考えや理論を理解する。 また、患者や家族が危機を脱していけるような看護の役割と方法を学ぶ。				
学習目標		1. 急性期にある対象の特徴や身体の恒常を維持する機構及び生体侵襲を受けた時の生体反応が理解できる。 2. クリティカルな特殊環境におかれた対象者の看護の特殊性が理解できる。 3. クリティカルケア看護における生体侵襲理論及び看護援助に必要な理論が理解できる。 4. 集中治療室の特殊性と人工呼吸器患者の看護が理解できる。 5. クリティカル状態にある患者の呼吸機能・循環機能・意識・体液・栄養状態の機能障害に向けた看護が理解できる。				
授 業 計 画	1	急性期・クリティカルケア看護の特殊性と看護の対象及び看護師の役割				
	2	急性期・クリティカル患者の身体理解と生体反応				
	3	課題学習				
	4	急性期・クリティカルケア看護の基盤となる理論				
	5	急性期・クリティカルケア看護の基盤となる理論と概念				
	6	急性期・クリティカルケアにおける患者の安楽を阻害する痛みのメカニズム及び術後疼痛に対する看護				
	7	集中治療室看護の特殊性と人工呼吸器装着患者の看護				
	8	急性期・クリティカルな状態にある患者の呼吸機能障害と看護				
	9	急性期・クリティカルな状態にある患者の循環機能障害と看護				
	10	急性期・クリティカルな状態にある患者の呼吸・循環機能障害と看護				
	11	急性期・クリティカルな状態にある患者の脳・神経障害と看護				
	12	急性期・クリティカルな状態にある患者の水・電解質及び腎機能障害と看護				
	13	急性期・クリティカルな状態にある患者の栄養状態と管理				
	14	急変時・心肺蘇生時の看護				
	15	事例展開				
授業方法		講義、必要時演習				
テキスト・参考文献		「臨床外科看護総論」「臨床看護学総論」「クリティカルケア看護学」: 医学書院(電子テキスト)				
評価方法		試験、課題レポート、授業態度				
備考		解剖生理学の基礎知識と授業資料は事前学習して授業に臨むこと。				

<シラバス>

授業科目		老年看護学方法論Ⅰ	授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当教員	松本 佳代	実務経験のある教員	○
学習目的		老年期の健康について考え、加齢による身体的、心理的・社会的変化を理解し、治療を必要とする老年者への看護や老年者の生活に焦点を当てた看護の方法を考え、学ぶ。				
学習目標		1. 老年者の身体的、社会的、心理的变化を知り、健康な生活を送るための援助を考えることができる。 2. 治療を必要とする老年者の看護を理解できる。 3. 老年者特有の症状と看護について理解する。				
授 業 計 画	1	高齢者の加齢に伴う身体機能変化と治療、ケアの必要性				
	2	高齢者の加齢に伴う身体機能変化と治療、ケアの必要性				
	3	老年症候群の特徴と症候へのケア				
	4	高齢者の加齢に伴う変化と治療、ケアの必要性(高齢者体験演習)				
	5	高齢者の加齢に伴う変化と治療、ケアの必要性(高齢者体験演習)				
	6	認知機能障害のある高齢者のケア（認知症：病態・治療・症状及び生活障害、家族支援、ケアシステム）				
	7	認知機能障害のある高齢者のケア（認知症患者とのコミュニケーション、認知機能低下予防）				
	8	皮膚・排泄障害のある高齢者のケア（皮膚・排泄障害のアセスメント）				
	9	呼吸器障害のある高齢者の生活機能を支えるケア（誤嚥性肺炎・COPDなど呼吸状態のアセスメントと看護）				
	10	循環器障害のある高齢者の生活機能を支えるケア（心不全など循環状態のアセスメントと看護）				
	11	脳神経障害のある高齢者の生活機能を支えるケア（脳卒中・パーキンソンなど歩行・移動を支える看護：基本動作・廃用症候・転倒のアセスメント）				
	12	筋・骨格系障害のある高齢者の生活機能を支えるケア（大腿骨骨折など活動と休息を支える看護：睡眠・覚醒のアセスメント）				
	13	高齢者の食生活を支えるケア（摂食・嚥下能力・栄養のアセスメントと口腔ケア）				
	14	高齢者のエンドオブライフケア・意思決定支援				
	15	まとめ・試験				
授業方法		基本的には講義形式だが、グループワークや演習を織り交ぜながら行う				
テキスト・参考文献		系統看護学講座「老年看護学」「老年看護病態・疾病論」：医学書院電子テキスト、生活機能からみた老年看護過程 第5版 他				
評価方法		出席状況、提出物、授業態度、グループワークの内容と各役割、筆記試験				
備考						

<シラバス>

授業科目		小児看護学方法論Ⅰ	授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当教員	戸梶 美香	実務経験のある教員	○
学習目的		小児が成長・発達することを理解し、療養しながらもそれぞれの「育ち」ができるために必要な援助と具体的な技術について学ぶ。				
学習目標		1. 発達に応じた、基本的な日常生活への支援の方法(しつけ)を理解する。 2. 病気や障害が子どもや親に与える影響と、いろいろな状況で育っていくための支援を理解する。 3. 子どもによくみられる症状と、具体的な援助の方法について理解する。 4. 子どもの身体アセスメントの方法と、発達に応じたコミュニケーションの方法について理解する。 5. 子どもが安全・安楽に診療を受けることができるための技術を学ぶ。				
授 業 計 画	1	日常生活援助に関する技術(栄養、排泄、清潔、睡眠)				
	2	病気・障がい子どもや親に与える影響と看護				
	3	いろいろな状況や環境にある子どもと親への看護				
	4	子どもの疾病の経過と看護(慢性期、急性期、周手術期、終末期)				
	5	子どもに多い症状と看護①(発熱、脱水、消化器)				
	6	子どもに多い症状と看護②(呼吸器、痙攣・意識障害、発疹)				
	7	子どものヘルスアセスメント①(バイタルサイン測定と観察)				
	8	子どものヘルスアセスメント②(演習)				
	9	検体採取時の援助(採血・採尿・骨髄穿刺・腰椎穿刺)				
	10	与薬・輸液の援助				
	11	プレパレーションとディストラクション①				
	12	プレパレーションとディストラクション②(事例をもとにグループで作成)				
	13	プレパレーションとディストラクション③(グループ発表と振り返り)				
	14	小児看護過程のための知識				
	15	試験				
授業方法		講義、演習(グループ発表含む)				
テキスト・参考文献		系統看護学講座「小児看護学概論/小児臨床看護総論」第13版 医学書院				
評価方法		出席状況、筆記試験、演習およびグループワーク参加・発表態度				
備考		内容に関しては授業の進捗状況に応じて変更あり。主体的な授業参加、学習態度を望む。				

<シラバス>

授業科目		母性看護学方法論 I	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	北村 明子	実務経験のある教員	○
学習目的		母性看護の特性を理解し、妊娠・分娩・産褥期にある対象および新生児に対する看護実践に必要な知識を身に付ける				
学習目標		妊婦・産婦・褥婦および新生児の生理的特徴と健康問題について理解し、健康の保持促進のための看護が理解できる。母性看護に必要な看護技術が理解できる。 女性のライフサイクルにおける性と生殖の意義について理解できる。母性を取り巻く社会の現状と課題を理解し、母子への支援や母子を取り巻く保健制度や関係法規について理解できる。地域において母子を継続して援助するための母子保健医療チームにおける看護師の役割が理解できる。				
授 業 計 画	1	妊娠期の身体的特徴とケア				
	2	妊娠期の心理社会的特徴とケア、妊婦と家族への看護、マイナートラブル				
	3	妊娠期のアセスメント				
	4	分娩期の身体的特徴とケア				
	5	分娩の経過、産婦と家族の看護				
	6	分娩期のアセスメント、胎児モニタリング				
	7	妊婦、産婦に対する看護技術				
	8	産褥期の身体的特徴とケア、マイナートラブル				
	9	産褥期の心理社会的特徴、褥婦と家族への看護、ソーシャルサポート				
	10	産褥期のアセスメント				
	11	新生児の身体的特徴と看護				
	12	新生児の生理的変化と看護				
	13	出生直後から退院までの観察の視点				
	14	新生児のアセスメント、褥婦・新生児に対する看護技術				
	15	まとめ、試験				
授業方法		講義				
テキスト・参考文献		系統看護学講座 母性看護学2 母性看護学各論:医学書院(電子テキスト) ウエルネスの視点にもとづく母性看護過程第4版				
評価方法		出席状況、筆記試験、演習およびグループワーク参加・発表態度				
備考						

<シラバス>

授業科目		精神看護学総論	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当教員	大井 美樹	実務経験のある教員	○
学習目的		精神看護の概要を学ぶ。 精神看護の目的、精神保健・医療・福祉・看護の歴史と現状・課題、精神看護の対象と特徴、基本的な看護技術と方法、患者－看護師関係の形成・発展および自己洞察の重要性が理解できる。				
学習目標		1.精神の健康について理解できる(諸理論含む) 2.精神看護の目的が理解できる 3.精神保健・医療・福祉・看護の歴史と現状・課題が理解できる(処遇・人権問題・患者の権利擁護等を含む) 4.精神疾患と治療について理解できる				
授業計画	1	精神看護学で学ぶことⅠ(精神看護学とは・精神看護の課題)				
	2	精神看護学で学ぶことⅡ(障がいを持つ人の病の体験と精神看護)				
	3	精神保健の考え方Ⅰ(精神の健康について、ストレスの影響について)				
	4	精神保健の考え方Ⅱ(心的外傷と回復、精神障がいの捉え方:ICFモデル)				
	5	心のはたらきと人格形成(心のはたらき・心のしくみと人格の発達)				
	6	関係のなかの人間(システムとしての人間関係・家族)				
	7	精神疾患のあらわれ方Ⅰ(精神を病むことと生きること・ストレングスの視点とリカバリー支援)				
	8	精神疾患のあらわれ方Ⅱ(精神症状・精神障がいの診断と分類他)				
	9	精神疾患のあらわれ方Ⅲ(事例:統合失調症・気分障害他)				
	10	精神科での治療Ⅰ(精神科治療における薬物治療の意義、環境療法・社会療法)				
	11	精神科での治療Ⅱ(地域におけるケアと支援)				
	12	社会のなかの精神障害Ⅰ(精神障害と治療の歴史:世界・日本)				
	13	社会のなかの精神障害Ⅱ(精神障害と法制度、精神保健医療福祉の動向)				
	14	精神看護のさらなる発展(多職種連携、病院・地域との連携、当事者のパートナーとしての役割他)				
	15	まとめ、試験				
授業方法		講義・グループワーク				
テキスト・参考文献		精神看護学Ⅰ 精神看護の基礎 : 医学書院(電子テキスト)				
評価方法		試験、課題提出、出席状況、授業態度				
備考						

<シラバス>

授業科目		地域・在宅看護援助論Ⅰ	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当教員	山本 佳子	実務経験のある教員	○
学習目的		地域・在宅看護の対象者と提供方法について理解する。				
学習目標		1. 地域・在宅看護の必要性を理解できる。 2. 地域・在宅で療養している対象者とその家族の特徴を説明できる。 3. 地域・在宅看護の目的や役割、機能が理解できる。				
授 業 計 画	1	地域・在宅看護の対象者と看護の役割（療養者の特徴とその支援、安全管理含む）				
	2	地域・在宅看護の対象者と看護の役割（家族、介護者としての家族の特徴とその支援）				
	3	地域・在宅看護の対象者と看護の役割（介護負担とレスパイトケア）				
	4	訪問看護制度の理解（訪問看護サービスの仕組みと提供）				
	5	訪問看護制度の理解（利用開始までの流れ、内容・展開・管理・経営など）				
	6	ケアマネジメント・ケースマネジメントの考え方とプロセス				
	7	在宅看護における看護師の役割と目的				
	8	在宅看護のあり方と今後の課題				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
授業方法		講義、グループワーク				
テキスト・参考文献		系統看護学講座「地域・在宅看護の基盤」、医学書院（電子テキスト）他				
評価方法		出席状況、提出物、授業態度、グループワークの内容と各役割、試験				
備考						

<シラバス>

授業科目		地域・在宅看護援助技術Ⅰ	授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当教員	山本 佳子	実務経験のある教員	○
学習目的		医療管理を必要とする在宅看護技術を理解し、学内演習で実施できる。				
学習目標		1. 在宅看護の実際を理解できる。 2. 在宅療養者の状態・状況に応じた医療管理を必要とする在宅看護の基礎的技術を身につける。				
授 業 計 画	1	医療管理を必要とする在宅看護技術（経管栄養法、胃ろう、中心静脈法）				
	2	医療管理を必要とする在宅看護技術（膀胱留置カテーテル、ストーマケア）				
	3	医療管理を必要とする在宅看護技術（酸素療法、非侵襲的陽圧換気、人工呼吸器）				
	4	医療管理を必要とする在宅看護技術（服薬管理、麻薬管理、輸液管理）				
	5	医療管理を必要とする在宅看護技術（褥瘡管理、処置）				
	6	医療管理を必要とする在宅看護技術（疼痛緩和）				
	7	医療管理を必要とする在宅看護技術（演習）				
	8	医療管理を必要とする在宅看護技術（演習）				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
授業方法		講義、グループワーク、演習				
テキスト・参考文献		系統看護学講座 「地域・在宅看護の基盤」、医学書院（電子テキスト） 「地域・在宅看護の実践」、医学書院（電子テキスト） 他				
評価方法		出席状況、授業態度、提出物、演習内容と態度、グループワークの内容と各役割、試験				
備考						

<シラバス>

授業科目	医療安全		授業方法	講義・演習	単位	1単位
開講時期	2年次前期		担当教員	戸梶 美香	実務経験のある教員	○
学習目的	医療安全の基礎的知識を学び、安全の重要性を理解する。医療事故の動向、発生要因の理解とインシデントの分析方法を学ぶ。					
学習目標	1. 看護における医療安全の考え方について理解する。 2. 医療事故の構造と要因について理解し、医療事故防止の考え方を理解する。 3. 実習における医療安全について理解する。 4. 組織としての医療安全対策について理解する。					
授 業 計 画	1	医療安全の歴史と考え方				
	2	医療安全の歴史と看護を取り巻く現状				
	3	インシデント・アクシデントの理解				
	4	インシデント・アクシデントの分析方法				
	5	看護の現場・実習で起こりうる医療事故				
	6	事故後の対応について				
	7	KYT演習				
	8	試験				
授業方法	講義・演習					
テキスト・参考文献	系統看護学講座:「医療安全」、医学書院（電子テキスト）					
評価方法	出席、授業・グループワーク参加態度、試験、レポート					
備考						

<シラバス>

授業科目		病理と診断過程	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	吾妻 美子	実務経験のある教員	—
学習目的		臓器、組織、細胞の変化としての病変について学習し、疾病の成り立ちや症状を理解する。				
学習目標		1. 人体に発生した疾病と病態の細胞、組織、臓器の形態的变化について学習し、生体内で行っている異常を科学的に検証する方法を学ぶ。 2. 医療における基礎医学と臨床医学との橋渡しの役割りを担っている病理学の意義を理解し、認識を深める。 3. 看護師として必要な病理学を学ぶことの意味を理解し、説明することができるようになる。				
授 業 計 画	1	病理学で学ぶこと 看護と病理学				
	2	病気の原因、細胞・組織の障害と修復				
	3	循環障害				
	4	炎症と感染症				
	5	免疫、移植と再生医療 アレルギー、自己免疫疾患				
	6	代謝障害				
	7	先天異常と遺伝子異常				
	8	腫瘍				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
授業方法		講義				
テキスト・参考文献		系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進①「病理学」 医学書院(電子テキスト)				
評価方法		出席状況、筆記試験				
備考						

<シラバス>

授業科目		からだの仕組みと働き	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	武政 あゆみ	実務経験のある教員	○
学習目的		看護は対象である人の身体の中で起きていることを知り、起きていることから判断する能力が求められる。身体の異常に気づき、異常を知る力を養うため、正常な身体の仕組みと働きを理解する。また、人体の器官・臓器の正常な働きに関する基本的な事項を理解する。				
学習目標		1. 人体の構造・機能の科目で修得した知識を基に病態理解ができる。 2. 各器官の解剖生理を整理し、疾患理解につなげる。 3. 各器官の仕組みと働きについて説明できる。				
授 業 計 画	1	呼吸器系の解剖生理の復習と病期の発達段階、看護の視点				
	2	循環器系の解剖生理の復習と病期の発達段階、看護の視点				
	3	脳神経系の解剖生理の復習と病期の発達段階、看護の視点				
	4	消化器系の解剖生理の復習と病期の発達段階、看護の視点				
	5	腎・泌尿器系の解剖生理の復習と病期の発達段階、看護の視点				
	6	内分泌系の解剖生理の復習と病期の発達段階、看護の視点				
	7	血液系の解剖生理の復習と病期の発達段階、看護の視点				
	8	運動器系の解剖生理の復習と病期の発達段階、看護の視点				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
授業方法		講義、演習				
テキスト・参考文献		①任和子:疾患別看護過程、照林社、2021 ②その他、講師が用意する資料				
評価方法		試験 出席状況 授業態度、課題レポート				
備考		各コマの臓器について授業前に構造と機能について復習をしノートにまとめる。				

<シラバス>

授業科目		薬物療法と看護	授業方法	講義	単位	1単位
開講時期		2年次前期	担当講師	松本 佳代	実務経験のある教員	○
学習目的		的確な薬物療法を行うために必要な基本的な考え方と看護援助を学ぶ。				
学習目標		1.薬理作用を規定する要因(容量と反応など)や薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。 2.薬物の蓄積、耐性、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。 3.薬物の投与方法の違いによる特徴と看護援助を説明できる。 4.小児期、周産期、老年期、臓器障害、精神・心身の障がい時における薬物与薬の注意点と看護援助を説明できる。 5.主な治療薬の作用、機序、適応、有害事象及び看護援助を説明できる。 6.薬物管理の基本的知識と注意事項を説明できる。 7.薬剤の職業性暴露について説明できる。				
授 業 計 画	1	医薬品の取り扱いと薬物治療の基礎 (1)				
	2	医薬品の取り扱いと薬物治療の基礎 (2)				
	3	対症療法薬の基礎知識と看護師の役割 (1)				
	4	対症療法薬の基礎知識と看護師の役割 (2)				
	5	主要疾患の薬物療法の基礎知識と看護師の役割 (1)				
	6	主要疾患の薬物療法の基礎知識と看護師の役割 (2)				
	7	主要疾患の薬物療法の基礎知識と看護師の役割 (3)				
	8	まとめ、試験				
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
授業方法		講義				
テキスト・参考文献		系統看護学講座 別巻「臨床薬理学」医学書院				
評価方法		筆記試験、出席状況、授業態度、課題状況(提出期限、内容)				
備考		薬理学、解剖生理、病態生理について予習・復習を行い、理解を深めること				